



最新式胸部バッテリー検診車を導入しました！

平成30年2月28日、胸部デジタルX線検診車「あおぼ2号」を導入しました。

アナログ方式からの切り替えで、従来に比べ低線量でより正確な撮影が可能で、且つ、読影時に画像の拡大や濃淡の調整が可能になるなど精度の高い画像・診断を提供し、事業所就労者や地域住民の結核及び肺がんの早期発見と予防に努めてまいります。

また、更新車両は最新式蓄電池バッテリーを搭載しております。検診業務を行うためには大容量の電力を使用することから発動発電機を稼働する必要があり、その騒音や排出ガスは環境問題として認知されつつありましたが、最新式の蓄電池バッテリー検診車は、検診時に検診車内で使用する電力を蓄電池によってまかなうことができるよう開発された車両です。蓄電池バッテリー検診車の導入により、検診中の騒音や振動、排出ガスを出さない等、受診者や会場及び近隣への影響に配慮した検診を実施してまいります。

